



所内 第3回 写真コンクール入選作 「地蔵さんも一役」
技術部 測量課 岩崎 一雄

水平方向と鉛直方向の角を観測して位置と高さを求める。調製された図の主要場所が地球上のどこにあるか他の調査地との関係を数値的に明らかにし、開発や図の精度を得るために必要なかくれた基礎の作業。

瞬間：経緯儀は厳密に三角点中心にセットされた。観測開始!! 輪郭0度望遠鏡右!! 右第1収鳥!! 0分0秒 0分0秒!! 右第2…… 刻々と観測値が記録される…… 望遠鏡の視野にクッキリと浮ぶ紅白の測量旗をとらえる観測者の心機一体の瞬間。

痕跡：基準点がいかに精密に算出され正しく製図されていても、現地における所在が数年を経ずして滅失してしまうようでは後の開発調査に役立たない。工夫をして残さねばならない文化の痕跡。

地蔵さんも一役

時：蜜柑が山で色づき目と喉を楽しませてくれる頃
場所：長崎県下橋湾を眼下に見晴らす山頂。海陸の石炭資源を探る調査が企画され測量を開始した。地質測第1号三角点設置場所
作業：調査図を測図する骨組となる基準点の三角測量

地蔵さん：図面に記入された各種の基準点は現地調査の位置照合確認の資料となる。既設基準点の所在を探索するとき、草木などが繁茂していると発見が困難であるが、地形図上に地蔵さんが記載されているときは、三角点ここにありと地蔵さんは告げる!!

創立75周年スポット・ニュース

ダイヤモンドボーリングの原理は1846年にフランスのフォーベル氏によって考案され、ロシヨツト氏が1864年にこれを実用化した。日本では大正5年(1916)に利根ボーリングが初めて試作し、今日の国産機の盛況の因を築いた。地質調査所で地質・鉱床調査に試錐が用いられたのは昭和13年(1938)からである。

・・・地質調査所の出版物・・・

○ 地質調査所 月報 (第8巻 第9号)

報 文

本島 公司・牧 真一・影山 邦夫・川野 昌樹：

静岡市付近天然ガス地化学調査報告

南雲 昭三郎：碎屑岩を伝わる弾性波速度に関する研究

第1部 砕石岩を伝わる弾性波速度の含有水分に伴う変化について

第2部 砂岩の石化 (Lithification) に伴う弾性的性質の変化について

資 料

温度と相関関係のある岩石の弾性係数の研究
日本島海域の太平洋海底における放射性元素の含有量について

○ 地質ニュースについて

地質ニュースの編集その他について、皆様からの御意見や御希望をお待ちしております。なお、ニュースは毎月末発行で無償配布をしておりますが、郵送料(1部8円切手)は御負担願っております。御連絡は下記へ

東京都新宿区河田町8 Tel. (34) 7131-8
地質調査所 東京分室 企画課 広報係